

| | | | | | | | | |
|------------------|--|------|------|------------------|-------------------------|----------|-----|----|
| 授業科目 | *初年次セミナーⅡ | | | | 単位 | 1 | | |
| 履修 | 必修 | 関連資格 | | | ナンバリング | WE10202J | | |
| 開講年次 | 1 | 開講時期 | 後期 | 該当DP | DP1-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1 | | | |
| 担当教員 | 木村 茂喜、杉谷 修一、杉本 有紗、金谷 めぐみ、水貝 洵子 | | | | | | | |
| 授業概要 | <p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場であり、基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。これらの力を獲得するためには、ただ単に基礎的な知識を効率よく覚えるということではなく、自らが積極的に課題を探求していく姿勢をもたなければならない。本セミナーは、初年次セミナーⅠおよびⅡで構成されており、スタディ・スキルズを身につけ、大学での学びの質を高めることを目的とする。初年次セミナーⅡでは、初年次セミナーⅠの学びを基礎として、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズ『発表する』『討論する』を強化し、より一層、主体的かつ能動的学習を展開する。『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』の強化ならびに定着を図り、さらにプレゼンテーションに発展させる。また、グループ内での討論を通して、物事を多面的・多角的に捉えて思考する力を身につけ、それらの考えを相手に伝える力を身につける。</p> <p>※第3回～第14回は学生を5つのグループ(前期の初年次セミナーⅠと共通)に分け、1人の教員が6回ずつ、合計2名の教員が担当する。また、第3回～第8回、第9回～第14回の授業計画はあくまで例であり、テーマ・講義内容、授業の運営方法、学習課題は各担当教員によって異なる。詳細については、第2回で各担当教員より説明する。</p> | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』をさらに鍛錬・強化し、『発表する』『討論する』に展開できる。(DP1-1) 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。(DP3-1) 3. 他者の考えと自分の考えを比較し、物事を多面的、多角的に捉えることができる。(DP3-1) 4. グループ学習において、自らの役割を自覚し、責任をもって協同行動ができる。(DP3-1) 5. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。(DP4-1) 6. 学習成果を相手に分かりやすく伝えることができる。(DP5-1) | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 0 | 0 | 10 | 45 | 25 | 20 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | 10 | 20 | 10 | | 40 | |
| 知識・理解 (DP1-2) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | 10 | 10 | 10 | 30 | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-1) | | | | 10 | 5 | 5 | 20 | |
| 態度(DP4-2) | | | | | | | | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | | 5 | | 5 | 10 | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |

| 学生が達成すべき行動目標を達成することができ、主体的に課題を探求し、積極的に提案・行動する姿勢がみられる。 | | 学生が達成すべき行動目標を達成することができる。 | | |
|---|---|--------------------------|----------------|------------|
| 授業計画 | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | 予習・復習時間(分) |
| 1 | テーマ:初年次セミナーIから初年次セミナーIIに向けて(木村政伸) | 合同講義 | 特になし | 0 |
| 2 | テーマ:ガイダンス、研究倫理について(福祉学科担当全教員・研究倫理委員) 初年次セミナーIIの進め方について、各担当教員が説明し、研究倫理委員より、文献・資料の正しい引用の仕方、個人情報の保護など、研究倫理について説明する。 | 合同講義 | 特になし | 0 |
| 3 | テーマ:大学生にとっての読書(担当教員1) 学習や研究の基礎となる読書の意味と具体的な方法について学ぶ。 | 演習・講義 | おすすめ本のリスト作成 | 60 |
| 4 | テーマ:読書力を確認してみよう(担当教員1) RSTを実施し、その結果をもとに、読み方の癖や問題点の解決法を探る。 | 演習・講義 | 特になし | 0 |
| 5 | テーマ:読書に親しむ・映像作品になった本たち(担当教員1) 映像化された本をきっかけに読書に親しむ方法を探る。 | 演習・講義 | 映像作品の視聴 | 120 |
| 6 | テーマ:プレゼンテーションの準備(担当教員1) プレゼンテーションの実践に向けた準備を行う。目的・内容・方法を学ぶ。 | 演習・講義 | 特になし | 0 |
| 7 | テーマ:プレゼンテーションの実践(1)読書の魅力(担当教員1) 文字表現を通じた笑いの世界に触れ、読書の新しい魅力に触れる。 | 演習 | プレゼンテーション原稿の作成 | 120 |
| 8 | テーマ:プレゼンテーションの実践(2)本の魅力の伝え方(担当教員1) これまでの演習を通じて感じた本の魅力を他者に効果的に伝える演習。 | 演習 | プレゼンテーション原稿の作成 | 120 |
| 9 | テーマ:社会問題に関する文章の読み方(担当教員2) 最近の社会問題に関する文章を読み、その要点を要約し、疑問点を共有する。 | 演習・講義 | 文章の要約 | 120 |
| 10 | テーマ:文章へのツッコみ方(1)論理的・批判的思考の意義(担当教員2) 論理的・批判的思考の意義、主なツッコみ方について学ぶ。 | 演習・講義 | 文章へのツッコミ | 120 |
| 11 | テーマ:文章へのツッコみ方(2)実際にツッコんでみる(担当教員2) 文章のツッコめる部分とその理由についてグループで発表し、そのツッコミについてグループ間で相互評価する。 | 演習 | 特になし | 0 |
| 12 | テーマ:ディベートの準備(担当教員2) ・議論することの意義について学ぶ。 ・ディベートのルール説明を行い、次回行うディベートの役割分担を決定し、テーマを発表する。 | 演習・講義 | 次回のディベートの準備 | 180 |

| | | | | |
|-----------------------|--|--------|-------------|-----|
| 13 | テーマ:ディベート(1)テーマその1(担当教員2) ・前回発表したテーマについてディベートを行う(1回目)。 ・次回行うディベートの役割分担を決定し、テーマを発表する。 | 演習 | 次回のディベートの準備 | 180 |
| 14 | テーマ:ディベート(2)テーマその2(担当教員2) 前回発表したテーマについてディベートを行う(2回目)。 | 演習 | 特になし | 0 |
| 15 | テーマ:初年次セミナーIIのまとめ(担当全教員) 初年次セミナーI,IIを通じた振り返りを行う。 | 学科合同講義 | 特になし | 0 |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 初年次セミナーIで学習した知識や技能は、初年次セミナーIIでも活用するので、確実に会得しておくこと。 | | | |
| テキスト | 特に定めない。 | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | テーマに即した文献・資料について、担当各教員より紹介する。 | | | |

| | |
|--------------------------------|---|
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | 授業で関心のあったテーマについては、積極的に図書館やインターネットを利用するなどして知識を深める。グループ学習の利点を活かしながら、各自の積極的な参加を期待している。 |
| 達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法 | 達成度評価の指標と評価割合については、担当教員によって多少異なることがある。もし、疑義があるときは、各担当教員に問い合わせること。 |